



〔撮影場所;小倉南区若園〕

トウダイグサ科 ナンキンハゼ（南京櫨） 落葉広葉高木 樹高10mくらい

中国大陸より移入され、ロウを採取するために栽培されてきたが、その後緑化用にも利用されるようになった。近年は芽出しや紅葉の美しさが評価され、広場や街路にもよく活用されている。6～7月に芳香を放つ細長い穂状の黄色い花が咲き、秋は紅葉や黄葉が鮮やかで美しい。葉は染料に用い、白いロウ質に包まれた種子からはロウや油をとる。（但し、種子は有毒。）



全景



葉と幹肌

街路樹としての代表的路線

小倉南区 若園町線、若園87号線、曾根駅前線